

令和5年度 第2回 宝達志水町文化財保護審議会

日 時：令和6年2月27日（火） 午後2時00分～

場 所：宝達志水町埋蔵文化財センター 2階 研修室

— 次 第 —

1 開 会

2 会長あいさつ

3 教育長あいさつ

4 議題

(1) 令和6年能登半島地震の被害状況報告について

①指定文化財(国・県・町)の被害状況

②震災における町の対応

③国・県及び関係機関の動向

(2) 令和5年度文化財保護事業報告について

①文化財施設(岡部家・喜多家)について

②指定文化財について

③地域学習関係

④埋蔵文化財センター関係

(3) 令和6年度 能登文化財保護連絡協議会総会について

開催地 中能登町

日 程 未 定

能登の文化財〈第58集〉 令和6年6月28日(金)締切

5 その他(事務連絡・意見交換など)

6 閉会あいさつ(副会長)

令和6年能登半島地震 宝達志水町被害報告

(1) 宝達志水町における指定文化財などの被害状況

- ①宝達志水町の指定文化財（87件）のうち被害3件確認
 - ・国指定（2件）… 被害2件（喜多家住宅・散田金谷古墳）
 - ・県指定（6件）… 被害1件（岡部家住宅）
 - ・町指定（79件）… 被害0件 但し未確認4件
- ②町埋蔵文化財センター および 所蔵資料（土器）に被害

(2) 震災における町の対応

- ①文化財施設等の臨時休館措置（1/4～2/13）
 - ・ホームページ等で休館案内の掲載
 - ・建造物の安全性を確認 → 2月14日より通常開館
 - ②指定文化財への対応 … 被災状況確認の実施
 - ・町内指定文化財の現地確認および所有者への電話確認
 - ・国・県に被害報告およびき損届を提出
 - 被害のあった指定文化財については国・県と相談・協議し対応
 - ③指定外の文化財（広義の文化財）への対応
 - ・町として把握困難な指定外の古文書・古美術品等（広義の文化財）
 - 災害ゴミとして廃棄される可能性あり
 - ・県文化財課から保全に関する周知文書が届く
 - 各集落へ回覧および町ホームページ等へ掲載し周知する
- ※現在のところ、町への問い合わせはない
しかし、現実には被害が出ており、滅失する文化財も生じている。

(3) 国・県及び能文連の動向

- ①能文連 理事会（1/25）
- ②能文連 担当者会議（2/9）
- ③国・県・能文連 合同会議（2/9）
- ④国・県・能文連 会合（2/13）
- ⑤オンライン説明会（2/15）

古い文書や美術品などを すぐに処分しないでください

石川県
石川県教育委員会
宝達志水町教育委員会

この度の震災で被災された皆さまに、心よりお見舞いを申し上げます。震災で家庭や地域の古い文書や美術品などにも被害が出ておりますが、これらかけがえのない歴史的財産を将来に守り伝えるため、保全にご協力をお願いします。

- 1 古文書、書籍、地図、写真・アルバム、軸額、美術・工芸品、民具等は、土砂等を払えば復元可能な場合が多いので、安易に捨てないようお願いいたします。
- 2 箱等がつぶれた場合は、新しい箱に入れ替えてください。もとの場所へ戻せない場合は、取りあえず湿気を防げる場所か容器に移してください。
- 3 雨や水等に濡れたものは、そのまま陰干ししてください。ページとページが、くっつかないように、新聞紙や障子紙など吸湿性の高い紙をはさみ込むと効果的です。(水洗いや濡れたままビニール袋などに長時間入れることはしないでください。)

これらのことでお困りの方、またご相談を希望される方は、市町教育委員会文化財担当課、または下記の県機関へお問い合わせください。

宝達志水町埋蔵文化財センター (宝達志水町教育委員会生涯学習課文化財係)	0767-28-5180(平日のみ)
○絵画、掛け軸、陶器などの美術工芸品 石川県立美術館	076-231-7580
○古文書、古い美術品類、生活用具など 石川県立歴史博物館	076-262-3236
○古文書 石川県文化財課近世史料編さん室	076-255-2527(平日のみ)
石川県金沢城調査研究所	076-223-9696(平日のみ)
○化石、鉱物などの自然関連資料 石川県立自然史資料館	076-229-3450
○出土品などの考古資料 (財)石川県埋蔵文化財センター	076-229-4477
○古い刀剣や銃砲など 石川県教育委員会文化財課(刀剣等)	076-225-1844(平日のみ)

※ なお、震災に乗じた古物商等の買い出しに際しては、安易に売ったり、引き取ってもらわないよう、ご注意くださいと思います。

令和5年度文化財保護事業報告

(1) 文化財施設(岡部家・喜多家)の公開・管理

○岡部家【県指定有形文化財】の保存・公開について

石川県指定有形文化財岡部家主屋、並びに十村屋敷を構成する蔵・納屋、後背の山林と、屋敷前水田を含む景観を保全し、文化財施設として維持保存・管理公開を実施している。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入場者	289人	329人	442人	913人
入場料	112,800円	127,500円	124,200円	123,000円

R5.12月時点

令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症が「第5類感染症」に移行したことにともない、行動制限を解除してコロナ禍以前の状態に戻した。

10月から11月にかけて開催された「いしかわ百万石文化祭2023(第38回国民文化祭、第23回全国障害者芸術・文化祭)において、宝達志水町におけるイベント「岡部家で楽しむ茶会・アート展」の会場として施設利用があった。入場者数は564人であった。

令和6年1月の能登半島地震により、主屋の土壁や土間に亀裂が生じ、庭園の庭石が崩落するなどの被害があったが、指定建造物の倒壊は免れた。地震発生直後から休館措置を講じたが、倒壊の危険性が少ないと判断され、2月14日より施設の公開を再開した。



「茶会・アート展」の様子(10月)



能登半島地震後の岡部家(1月4日撮影)

○喜多家【国指定重要文化財】の保存・公開について

国指定重要文化財喜多家主屋、表門、道具倉、味噌蔵、敷地の外、隣接する駐車場を含め、文化財施設として維持保存・管理公開を実施している。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入場者	633人	923人	3,984人	1,067人
入場料	281,900円	386,800円	1,624,200円	432,300円

R5.12月時点

令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症が「第5類感染症」に移行したことにともない、行動制限を解除してコロナ禍以前の状態に戻した。行動制限が解除されたものの、昨年度とは異なり旅行会社等の団体予約が少なく、入場者数は4分の1にとどまった。

10月には主屋と資料館の間にある池の撤去工事(埋立工事)をおこなった。また、喜多家敷地内の樹木の伐採を、令和6年3月までに完了する予定である。



池の撤去工事の様子(12月)

1月に発生した能登半島地震により、主屋の土壁・土間に亀裂が生じ、剥離しかけていた道具倉の漆喰壁が少し落ちるなどの被害があったが、指定建造物4棟の倒壊は免れた。毎年実施している文化財防火訓練の実施を予定であったが、地震により中止となった。

(2) 指定文化財について

除草作業を末森城跡で年4回、散田金谷古墳で年3回、御館館跡、臼ヶ峰往来で年2回実施した。また、11月に御館館跡の南側に生える竹林の伐採を実施している。

5月には県指定天然記念物 ゼンショウジキクザクラの施肥作業を実施した。また、令和6年3月までにゼンショウジキクザクラの柵を更新する予定である。

9月には喜多家文書を喜多家資料館から埋蔵文化財センターに移管し、燻蒸を実施した。次年度以降、調査・整理を実施する準備を進める予定である。

10月には末森城跡の新しいパンフレットを作成し、12月には登山道に説明看板(8か所)と誘導看板(1か所)を新設・更新した。



喜多家文書の燻蒸作業の様子(9月)



末森城跡「ニノマル」説明看板(12月)

(3) 地域学習関係

○県埋蔵文化財センターとの連携

石川県埋蔵文化財センターが実施している「考古学出前教室」が樋川小学校(6月13日)と相見小学校(6月27日)で行われた。町文化財係職員も講師として同席し、町の歴史等について10分程度の解説を行った。



考古学出前講座での解説の様子(6月)

○学校教育への協力

町内小中学校の依頼により、町の歴史や文化財に関する出前授業を実施した。6月15日には樋川小学校6年生、10月26日には志雄小学校6年生を対象に、末森城跡について出前授業・現地説明を行った。また、10月23日には押水第一小学校4年生を対象に、喜多家の見学案内を行った。



志雄小での出前授業の様子(10月)

○公民館との連携

公民館と連携し、歴史に親しむ体験講座を実施した。6月21日には公民館講座「白ヶ峰往來を歩く」の講師を務めた。参加者は12名であった。

○国民文化祭への協力

10月から11月にかけて開催された「いしかわ百万石文化祭2023」(第38回国民文化祭、第23回全国障害者芸術・文化祭)において、宝達志水町でのイベント「加賀藩ゆかりの地をめぐる歴史ツアー」の末森城跡の現地説明を務めた。ツアーの参加者は18名であった。



公民館講座での現地説明の様子(6月)



歴史ツアーでの現地説明の様子(10月)

○映像教材の製作

令和3年度に放送されたラジオ番組「宝達志水町歴史物語」を、イラスト・写真をまじえて紙芝居形式で映像化し、地域学習の教材として、町内小中学校などに配付した。今後、町 YouTube チャンネル上でも公開する予定である。

なお、7月にはラジオ番組「宝達志水町歴史物語」が、ラジオかなざわ等4局にて再放送されている。



映像教材のジャケット

(4) 埋蔵文化財センター関係

○企画展の開催

企画展「末森合戦の舞台」を開催した(10月20日～11月19日：期間中は土日も開館)。10月から11月にかけて開催された「いしかわ百万石文化祭2023」(第38回国民文化祭、第23回全国障害者芸術・文化祭)における、宝達志水町でのイベントの一つとして開催した。

企画展では、前田育徳会所蔵の末森合戦の絵巻物や当センター所蔵の末森城跡の出土品をはじめ、古文書・絵図の写真パネル等を展示し、末森城跡のすがたや歴史を紹介した。



企画展 会場の様子



展示解説(ギャラリートーク)の様子

○宝達志水町歴史講座の開催

町文化財係職員が講師となり、町の文化財や歴史・文化について理解を深める講座「宝達志水町歴史講座」を実施した。日時・内容は下記のとおり。

令和5年07月22日(土)14:00～15:30「末森記の世界」

令和5年11月03日(金)14:00～15:30「末森合戦の舞台」